ぎふ福祉の魅力知らせ隊

◎福祉の魅力知らせ隊とは……
岐阜県内の福祉施設等で働く職員22名により「ぎふ福祉の魅力知らせ隊」が組織されています。その活動の中に、中学校・高等学校を訪問して行う福祉の仕事に関する講座や進学相談等があります。

この度、当施設の生活相談員がぎふ福祉の魅力知らせ隊の隊員に任命され、中濃地区の中学校で福祉の仕事の魅力ややりがいを伝える機会をいただきました。生徒や先生の感想とともに講座の様子をお伝えします。

◎佐見中学校　2年生の感想を紹介します

最初は、福祉の仕事は高齢者の方の介護ぐらいだと思っていましたが、他にも看護の仕事や事務の仕事など介護以外にもたくさんの仕事があることがわかりました。
自分が普段過ごしている中でも、たくさんの福祉と関わっていることがわかりました。
自分は、これから進路について考えるようになります。その時の選択の一つにしたいです。

田口　大夢

福祉の仕事についての説明で、自分が知らなかった仕事内容や役割を細かく知ることができました。
普段は福祉に関わることが少ないので、この説明で初めて知ったことがたくさんありました。人員が不足しているとの話も聞いたので、将来のために福祉についてもっと勉強していきたいと思いました。

田口　瑞樹

僕はまず福祉の仕事がたくさんあることに驚きました。自分の中では高齢者の介護だけが福祉の仕事だと思っていました。ですが、実は保育士や栄養士も福祉の仕事の一部だと知りました。他にもたくさんの仕事があり、広い範囲で活躍しているんだと分かりました。そう思うと、福祉の仕事はおもしろそうだなと思いました。

熊崎　倖

福祉の仕事はそこまで難しくないと思っていたけど、話を聞いて福祉の仕事は大変だけど人々の役に立つ仕事だと学べました。また、介護福祉士は難しい国家試験を乗り越えてなれる職業だということを知りました。
福祉は人との関わりがとても重要になるので、僕も他の人の気持ちを考えてみたいです。福祉の仕事に就職しなくても福祉について少しでも知っておくことが大切だと感じました。

安江　日向

私は今回の福祉に関する話を聞き、福祉というのはとても身近にあるものなんだと分かりました。福祉の中でも沢山の仕事があることにおどろきました。また、3年間働けば介護福祉士の試験を受けられることを知りました。
おじいちゃん、おばあちゃんと話したりすることは楽しいのか分からないけど島倉さんの話をきいてとても楽しそうにみえました。今後福祉に関わる仕事ができればいいなと思いました。

田口　りじゅ

担任の先生より

生徒たちは、福祉が特別なものではない、すべての方に対してのものであるということや、福祉に携わる方々の仕事について知ることができ、将来の選択肢の一つとして考えることができたように思います。
奨学金についてのお話や、実際に現場で働いていらっしゃる方の声を聞くことができる機会は、大変貴重な時間となりました。
お忙しい中、ありがとうございました。